

2012年4月
プレスリリース

浅井裕介滞在制作展

やおよろず
八百万の物語 - 強く生きる 繰り返えす -

2012年4月28日(土) — 6月24日(日) 10:00—18:00

会期中無休／入場無料

青森公立大学国際芸術センター青森



浅井裕介《泥絵・祝福のダンス》2011、h. 310 x w. 415 x d. 630 cm、現地で採取した土、水、薬灰、薬、牛の糞、レンガの粉
ウォールアート・フェスティバル・ニランジャナスクール2011、ブッダガヤ、インド
撮影：三村健二
Courtesy of the artist and ARATANIURANO

展覧会概要

- タイトル：浅井裕介滞在制作展「八百万の物語 - 強く生きる 繰り返す -」
会 期：2012年4月28日（土）－6月24日（日）10：00－18：00（会期中無休）
入 館 料：無料
会 場：青森公立大学 国際芸術センター青森 展示棟ギャラリーA、B
主 催：青森公立大学 国際芸術センター青森
協 力：青森市教育委員会、ARATANIURANO、善知鳥神社、フェスティバルシティアウガ、
Wall Art Project、AIRS、ACAC 学生サポーター（順不同）
協 賛：カモ井加工紙株式会社

浅井裕介さんは、植物、動物、人などの具体的なモチーフや、丸や三角などを組み合わせたような模様など小さなかたちが入り混じり、繋がり、絡まりあって別の大きなかたちや物語を構成するような作品を数多く発表しています。その作品にはまさに本展のタイトルにもなっているような「八百万の物語」が潜んでいるようです。また、制作にはワークショップや共同制作を通じて多くの人の手が加わっており、様々な人による多様な物語が作品に込められているようでもあります。

浅井さんは、既製品の絵具だけではなく様々なものを画材として用いています。例えば、道路に線を書く白線を使った「植物になった白線」では、街中の道路や個人宅の駐車場、小学校の校庭などに絵を描いていますが、これは屋外で半永久的に保存される作品です。マスキングテープという仮止め用のテープを貼って、その上から絵を描く「マスキングプラント」では、壁が汚れることもなく、テープを剥がしてしまえばすぐに原状回復できるので、今まで店の壁や車などに描いてきました。また、壁に直接描く泥絵は、制作を行う現地で採取した土を使って描き、展示期間が終わったら水で洗い流します。

浅井さんがこのように様々な素材を使って制作する源には「描きたい」という強い気持ちがあり、どうしたらそこに描けるのかを考えた結果としてその場に一番適した素材と方法を見つけ出しているようでもあります。

今回浅井さんは4月初旬からACACに滞在し制作を行ってきました。ギャラリーAには青森各地で採取した土で描く巨大な壁画が登場します。また、ワークショップで青森市民の方々と一緒に制作した作品も展示され、本展は浅井さんが今まで行ってきた様々な活動を一度に見ることが出来るものとなります。更に、展覧会会期中も公開制作を行い、会期の最後には、泥絵を消すワークショップも行います。展覧会開始前から終了まで、何度も見て変化を楽しむことの出来る展覧会となるでしょう。

浅井裕介 (ASAI Yusuke)

1981年 東京都生まれ。現在熊本市在住。

<http://d.hatena.ne.jp/asaiyusuke/>

<近年の主な個展>

2011 「パギとソレ」、ARATAIURANO、東京

「BankART Life 3 新・港村 UNDER35 GALLERY」、新港ピア、横浜

「根っこのカクレンボ@武蔵野プレイス」、武蔵野プレイス、東京

「草の実」、Art Center Ongoing、東京

2010 「植物と宴」、ARATANIURANO、東京

「ショッピング」、三菱地所アルティアム、福岡

<近年の主なグループ展>

2011 「MOT コレクション 特別展示 浅井裕介」、東京都現代美術館、東京

「TARO LOVE～岡本太郎と14人の遺伝子～」、西武渋谷店全館、東京

「CAFE in Mito 2011 かかわりの色いろ」、水戸芸術館現代美術センター、茨城

「根っこのカクレンボ@武蔵野プレイス」、武蔵野プレイス、東京

「水・火・大地」、熊本市現代美術館、熊本

2010 「あいちトリエンナーレ2010」、長者町地区、愛知

「湖畔の原始感覚美術展」、西丸震哉記念館他、長野

「Small Paintings」、ARATANIURANO、東京

「ウォールアート・フェスティバル」ブッダガヤ、インド

【お問合せ】

青森公立大学 国際芸術センター青森

〒030-0134 青森市合子沢字山崎 152-6

TEL:017-764-5200 FAX:017-764-5201 MAIL: acac-1@acac-aomori.jp

ホームページ: <http://acac-aomori.jp/>

担当学芸員: 服部浩之

制作の様子を少しだけご紹介！

1、土の採取

ACAC 周辺、小牧野遺跡近辺、浅虫温泉、夏泊半島など、青森各所から少しずつ土を採取しました。



2、絵の具づくり

取ってきた土を砕いて細かくしたり、ゴミを取り除いたりして絵具として使えるように準備をしました。この作業からはボランティアの方と一緒に行いました。



3、泥絵の制作

ボランティアの方と一緒にギャラリーAの壁に泥絵を描いています。展覧会オープン後も制作は続きます。



4、ワークショップ

「小麦粉窓絵@ACAC」

4月14日に開催したワークショップ第1弾で、ギャラリーA上の窓に小麦粉で絵を描きました。



5、ワークショップ

「マスクングプラント@AUGA」

4月15日には、青森市中心街にある複合ビルアウガの空き店舗とACACでワークショップ第2弾を開催。アウガで同時開催するサテライト展ではマスクングプラントと写真の展示を行います。



まだまだ制作は続く、、、

日々の制作の様子はブログで公開しています。<http://acacaomori.exblog.jp/>

関連イベント

【アーティストトーク】

4月28日（土）14：30-16：00／無料

場所：展示棟ラウンジ

制作について、作品についてのお話を伺います。

【公開制作】

4月28日（土）～5月6日（日）10：00～18：00／無料

場所：国際芸術センター青森展示棟

※アーティストが展示会場にアトリエを構えて制作しています。食事や買い物などで不在の場合もあります。

【同時開催展】

「八百万の物語 -強く生きる 繰りかえず-」サテライト展@AUGA

4月28日（土）～6月24日（日）10：00～21：00／無料

場所：フェスティバルシティ アウガ（※会場の都合により会期が短縮される場合があります。）

【ウォールアート・フェスティバル報告会】

6月17日（日）14:30 - 16:00／無料

浅井さんも参加してインドで開催された芸術祭の報告会を開催します。ウォールアート・フェスティバル主催者の方々をお招きし、浅井さんを交えて芸術祭の紹介をします。

出演：浅井裕介、ウォールアート・フェスティバル実行委員会

会場：展示棟ラウンジ

【夜の特別開館】

6月23日（土）19時まで開館

夏の始まりの週末、いつもよりちょっと遅くまで開館時間を延長します。

【ワークショップシリーズ「絵画の時間」】

■「小麦粉窓絵@ACAC」（終了しました）

4月14日（土）10：00～17：00

■「マスキングプラント@AUGA」（終了しました）

4月15日（日）10：00～17：00

■「植物になった白線@ACAC」

4月22日(日)10:00~17:00

白線でACACの駐車場に絵を描きます。

■「植物になった白線」

6月23日(土)10:00-17:00

白線で道路に絵を描きます。場所は青森市内を検討中。

■「泥絵を消そう@ACAC」

6月24日(日)16:00~18:00

ギャラリーAの壁に描かれた泥絵をみんなで消します。

【アトリエ訪問】

■ファミリーツアー&お絵かき体験 2012年5月3日(木) 14:00-15:00

■ギャラリーツアー 2012年5月4日(金)、6日(日)、6月3日(日) 14:00-15:00

■おさんぽツアー 2012年5月5日(土) 14:00-15:00 ※要申込み

浅井さんとスケッチをしながらお散歩しましょう。(雨天時はギャラリーツアーに変更します。)